

女性つながりサポート事業【長崎県長崎市】

地域の実情と課題

- ・造船・水産・観光業を基幹産業としており、全国でも有数の観光都市であり、「宿泊業・飲食サービス業」の占める割合が全国平均を上回っている。
- ・観光関連産業に従事する非正規雇用の女性が多い。
- ・コロナ禍における観光客の大幅な減少や、緊急事態宣言の発令等による観光施設の休館や飲食店等の営業時間短縮等により、観光関連産業は大きな影響を受けており、非正雇用労働者の雇用環境の悪化が懸念されている。

事業の特徴

- <困難や不安を抱える女性に対する生活相談支援>
- ・専用相談窓口を設置し、女性相談員を配置した。
- ・既存制度へのつなぎのための同行支援や就労支援等の総合的なマネジメント支援を行った。
- ・状況に応じて生理用品の提供を行った。
- <支援者の養成・育成・研修>
- ・主に女性を対象とした相談機関間の情報共有を行うとともに、支援者のスキルアップのための研修を実施した。

事業の効果

- ・専用相談窓口で女性相談員を配置することで、女性が相談しやすい環境が整い、支援につなげることができた。
- ・相談者の85%が、相談できたことや相談窓口があることで、精神的に安定したり、収入が安定するなどの改善傾向が見受けられる。

目的・目標

コロナ禍による外出自粛の長期化や雇用の悪化等により困難や不安を抱える女性に対し、解決に向けた寄り添い型の支援を行う。

- ・相談実件数 : 目標値180件、実績値229件
- ・相談延べ件数 : 目標値1,080件、実績値937件
- ・支援者研修受講者数 : 目標値30人、実績値68人

連携団体

社会福祉法人長崎市社会福祉協議会
長崎こども・女性・障害者支援センター
ハローワーク
DV被害者支援団体
ひとり親支援団体 など

今後の課題

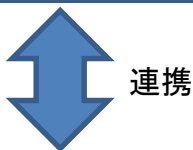
- ・支援を必要としている女性に対し相談窓口の情報が伝わるよう、SNS等の様々な広報媒体を積極的に活用した周知を図る必要がある。
- ・社会情勢の変化や多様化・複雑化する相談に対応できるよう、相談機関のさらなる連携や支援者の資質向上を継続的に図っていく必要がある。

事業の概要

(ポスター)

(周知カード)

長崎市



社会福祉法人長崎市社会福祉協議会

< 困難や不安を抱える女性に対する生活相談支援 >

- ・相談対応、情報提供
- ・関係機関との連絡調整
- ・既存制度へのつなぎ、同行支援
- ・就労支援(ハローワーク)
- ・訪問相談
- ・生理用品等の生活必需品の提供

< 支援者の養成・育成・研修 >

- ・相談窓口の周知
- ・情報共有
- ・資質向上を図るための研修実施

困難や不安を抱える女性



相談
情報提供
同行支援
就労支援

学校
子育て支援センター
など

周知

市、県の相談窓口
生活困窮に関する窓口
子育てに関する窓口
長崎子ども・女性・障害者
支援センター など

連携

ハローワーク

連携

関係団体、
支援機関
DV被害者支援団体
ひとり親支援団体 など

連携

連携
情報共有